

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

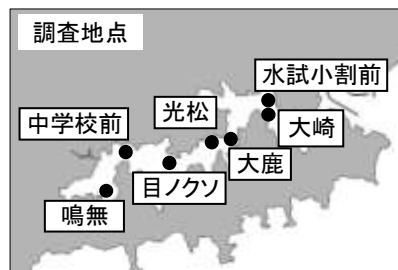
検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモイが最高で3,450cells/ml、シャットネラ属が最高で170cells/ml確認されました。

**カレニア・ミキモイは鳴無から大鹿の観測点で被害が想定される細胞密度になっています。**  
**また、シャットネラ属は、中学校前から水試小割前の観測点で被害が想定される細胞密度になっています。**  
引き続き慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン (cells/ml)

		カレニア・ミキモイ	シャットネラ属	珪藻類
中学校前	0m	17	0	30,800
	2m	1,400	140	5,600
	5m	200	170	600
目ノクソ	0m	3	0	32,100
	2m	990	60	4,400
	5m	31	40	900
光松	0m	17	0	13,300
	2m	580	140	5,000
	5m	15	46	1,000
大鹿	0m	44	29	6,200
	2m	420	140	4,600
	5m	130	60	170
水試小割前	0m	2	3	7,900
	2m	38	26	4,200
	5m	9	8	600
鳴無	0m	3,450	7	
	2m	1,150	7	
	5m	45	7	
中学校前(北)	0m	2	0	



**漁業被害が想定される細胞密度**

- ・カレニア・ミキモイ:  
数百～数千cells/ml(魚類等のへい死)
- ・シャットネラ属:  
10～100cells/ml(魚類のへい死)